新花巻図書館整備基本計画（案）に関する市民説明会

東和地域 会議録

1. 開催日時 令和7年4月16日（水）午後6時30分～午後8時25分
2. 開催場所 東和コミュニティセンター 第1・2会議室
3. 参加人数 27名
4. 会議内容（質疑応答箇所のみ）

質問者1 10ページの市民から出された要望に対しては、市はこれは認めないと。いろいろああでもないこうでもない対策をしているからJRの駅前で作りますっていう、市はそう決めたということ？

市川主任専門員 図書館計画室の市川と申します。これまで基本計画の試案について、前回もいろいろご説明してきた経緯もございますが、場所がまだはっきり決まっていませんでした。総合花巻病院の跡地と駅前と、ということで候補地が絞られてきてたということで、それを市が決めることとなりますが、そのために先ほどご説明したように、市民対話型の市民会議を開いたということです。これは15歳以上の市民のうち3,500人の方に案内を郵便で出してその中で75名の方が参加申し込まれた。その方で、どの場所がいいかを検討してもらったということです。その方々はやっぱり駅がいいっていう方もいれば、病院跡地の方がいいという方もいらっしゃったわけですね。その中で4回、1日4時間の会議を開いてもらって、全部自分の意見だけ言うんじゃないくて相手の意見を聞きながら対話型の会議をしてもらったということです。その結果がこの中で8ページに書いており、先ほど説明いたしました。

それで、これを見ますと、場所についてメリットとデメリットっていうのを出してもらったんですけども、病院跡地であれば何がいいとか、駅前だったら何がいいというような意見を出していく中で分類をされてくわけですね。例えば事業費が安い用地安いのはどっちだとかですね。あとは交通アクセスがいいのはどちら、それは皆さん市民会議の人たちが出した意見。これは分類されていって10個になりました。その分類でどれを重要視するべきですかというのを出してもらったわけです。そしたら順番で言いますと、駅の方が多というふうに捉えたわけです。それで市としては、駅の方を候補地にして、基本計画を定めたいというものです。

質問者1 俺が言いたいのは、75人がね、JRがいいと言ったと、けど10ページはさ、署名が6,000人でしょ。6,000人の意見は無視してさ、75人の意見を聞くのかっていう質問だ。

市川主任専門員 6,000人の署名の方々の意見は大変貴重だと思っております。6,000人の方々はいらっしゃるわけですね。無作為で抽出した3500人に案内したわけですよ。3,500人の中に署名した方がたくさんいるんであれば含まれてくるわけですね、その方々も。当然署名活動をされた方もいらっしゃるように見受けられました。署名した方もいたようです。その人たちが対話をして、どっちがいい、あっちがいい、ここはこっちがいいからっていうことで対話をしてもらったと。その結果出てきたものを、市民会議の結果を重視したいということです。

質問者 1 6,000 人の署名は無視するけど、市民会議の方が大事だったわけだ。75 人の方の。

市川主任専門員 6,000 人の署名の方々が、75 人の方々の中に入っているはずだということです。たくさんの方の市民の方が署名されたとすれば、入ってるはずですよ。

質問者 1 何で 6,000 人の意見を無視するんだって聞いてんの。

市川主任専門員 署名した方が 6,000 人、たくさんの方が署名されてるんであれば、無作為で抽出した方々に含まれてきてるはずですよ。当然含まれてきてるんですけども。そういう中で、市民の対話の会議を開いて、場所を検討していきましょうっていうふうに議会にも説明してきてるんです。予算もいただいて、それで市民会議を開いてる。その結果を重視すると、もう市として言ってきたんですよ。

質問者 1 75 人の結果そのものに俺はおかしいと思ってるの。アクセスがいいって言うけど、東和町からさ、駅に行こうがさ、病院の跡地に行こうがさ、アクセスなんか同じだよ。なんで駅前のアクセスがいいんだよ。

市川主任専門員 そのようなご意見の方もいると思います。でも違う意見の方もいるということ。

質問者 1 そうだよ違う意見が 6,000 人いるんじゃないの。

市川主任専門員 違う意見が 6,000 人とは捉えてないです。6,000 人の方の意見、先ほど申したとおりかなり踏まえてますよねこの三つの請願事項のうち、2 と 3 は、

質問者 1 6,000 人と 75 人じゃゼロが二つ違うんだよ。足し算できないのか。

市川主任専門員 この請願事項の 2 と 3 については満たしてるんですよ、この計画で。

高橋次長 今の議会でもちょっとお話させていただいておりましたが、請願事項、署名実行委員会の方 6,000 名の方からいただいたのは三つございます。一つ目は花巻病院跡地に建ててください。二つ目は宮沢賢治にゆかりのある土地に建ててください。三つ目は多目的スペース、市民の交流の場となる多目的スペースを設けてください、というのが 6,000 名の署名していただいた方のご意見と市は理解しています。その中で先ほど梅原の方が説明しましたとおり、二つ目の宮沢賢治ゆかりの土地というのは、私達が宮沢賢治記念館に確認したところ、駅についてもシグナルとシグナレスの舞台だったり宮沢賢治が駅から行ったということで、どちらも宮沢賢治ゆかりの場所だということがわかりました。そのことを市民会議で説明させていただいたときにご理解をいただいた上でそこは駅前にしても宮沢賢治の図書館にするという計画にしております。三つ目は、署名実行委員会の方もかなり重要視されてたんですけども、多目的で交流ができるスペースが欲しいということをお願いしています。基本計画の中ではいろんな方が来ていただいて活動できるスペースを準備させていただき、これを明記さ

せていただいております。おっしゃっていただいたとおり、三つ全ては当然私達もいろんな市民の方のご意見がございますし、先ほどおっしゃっていただいたとおり、いろんな意見があるのは当たり前だということも理解しておりましたので、その中でも署名いただいた方の二つは実現しようということで基本計画に載せています。

確かに市川が説明しましたとおり、候補地については市民会議の意見もあります。全ての今までの検討経緯も踏まえて進めさせていただいた上で、基本計画に反映させていただいておりますので、この計画で進めさせていただきたいなと思っておりますのでご理解いただければと思います。

質問者 1 ご理解しません。アクセスはどっちでも同じだ、東和からは。

質問者 2 私も今の方の意見に同感ですけども、1 ページにですね、全ての市民が親しみやすく使いやすい図書館ということで、自然や周辺に調和した明るくゆったりとしたスペースとし、ってということが書いてあります。あとは幼児、子ども、高齢者、障がい者全ての市民が利用しやすいようにっていうふうに書いてますけれども、私は駅前よりも、病院跡の方がゆったりした、自然と調和した、ゆったりしたスペースを作れるっていうふうに思いますけど、その辺はどうでしょうか。4月1日の広報見ますとね、3階建てにする場合もあるって書いてましたですね。ということは非常に狭いということですよ。

私もあそこなはんプラザに月2回習い事通ってますが、駐車場はですね、4月の末になはんプラザで行事があるんですけど、駐車場が狭いから早く来て並んでくださいって言われてるぐらい駐車場は狭いですし駅を利用する人も駐車場を使いますし、ゆったりしたスペースどころか非常に使いにくい。あそこにスポーツ店がありますよね、私はむしろスポーツ店みたいな商店をそのまま残して活性化できるようなね、駅周辺にした方がね、いいんじゃないかと思うけども。この自然調和したゆったりしたスペースっていうのは病院跡がいいんじゃないかと思えますけどその辺はどうでしょうか。

市川主任専門員 自然や周辺に調和した明るくゆったりとしたスペースということが基本方針に書かれています。これについても、もう当然その市民会議、場所を検討する市民会議の皆さんに説明しております。この基本方針に基づいて、場所を決めたいということをお話してます。その上で、参加された皆さん方は、やはりこっちがいいとかあっちがいいっていうのは、対話で話されたと思います。その結果として出されてきたものを我々は重視するというのであります。

質問者 2 前にも説明会行ってお話したんですけども、皆さんの発言の中からだったんですけども。貨物列車が走って行くとね、防音対策はするって言いますが非常に環境が良くないですね。まずは狭いってことですよ。結局ねここに書いてあるスペースなんかを設けるとすれば、2階じゃなくてやっぱり3階建てになるのかって私は心配してるんですね。それでやっぱり本当にゆったりしたスペースと障がい者の方とかも駐車場に入りやすいようにするというのがやっぱり今のまなび学園の方が駐車場とか新しくつくる病院跡の方がよろしいと思うのでぜひね、そこは市としても検

話し直しをお願いしたいと思います。

質問者 3

明日は石鳥谷でやるんですが、私予定があって来れないので勝手に東和の方に来させていただきました。すみません。私図書館の場所で興味があったもんですから、令和2年度に意見を出したりしました。そのとき市議会が今まで取り組んできたこととか、市のホームページでありましたんで市でどういうことをやってきたか、市議会がどういうことを言ったか、それかなり読みました。私の感想ですけども、その当時、若い人たちに聞くと、駅前だったんです。それから学識経験者たちが何回も会議をやっています。その中でも駅前の方が私を見る限りは多かったです。

今皆さんがおっしゃいましたように、自然環境という話もあるし、市の方で無視しているんじゃないかって、その考えだって言ってました。そうだと思います。盛岡だって、岩手公園にあったやつをアイーナに持ってきた。なんでかっていうと、利便性がいいからです。大きい街発展してる街、仙台とかとこういう地方都市と人口がだんだん減る町は違います。

それで私ももう結構な歳になってきたんだけど、若い人たちの意見は駅の方が良い、利便性がいい、紫波町の図書館も盛岡も駅に持ってきている。一関も駅に持ってきています。私は金ヶ崎にも行ったし、川崎村にも行ったし、いろんなところを見てきてます。

その中でやっぱりそういう時代の流れというのがありますから利便性も大事だ。花巻は公園持ってこなくてもあっちこっちたくさんあります。宮沢賢治記念館もあるし、胡四王山もある、いろんなところがあるんですよ。だから本を借りてそういうところに持って行ってもいいわけです。若い人たちが利用しやすいということ、それから今度都市計画も今の時代は10年経つと時代が変わるんです。

だから、その都市計画のプロの開発会社に頼んで意見を聞いた方が正しいものができます。そういうことも踏まえて、市の方でいろんな面で検討したと思うので、私は、皆さんはいろんな意見もあるし、誰と喧嘩するわけでもない。私はそう思って、これでいいと思っています。

違う意見の方はどんどん言ってもらっていいんですけども、私はそう思っていましたんで、それで私も歳をとっていきますから、これからの人たち、世の中どんどん変わっていきます。その人たちがうまく使えるようにどうするかを考えてやりたい。便利にしてやって使いやすくしてあげる。若い人たちが勉強をするんだったら勉強しやすいようにしてあげた方がいい。私はそう思いますのでこれでいいと思う。

それから、市議会が提案したときに、単独でやれと、複合はだめだと。ところが北上の生涯学習会館があって、あそこは北上市スポーツ推進課、市の一部が入ったり、歯医者が入ったり会議室があるという、NHKカルチャースクールがあったり、いろんなものが入ってるんです。とっても多くの人が入りて来ます。人が来るということは利用している。なぜか、便利だから人が来るんですよ。そういうところに作るのが、私は正しいと思うし複合施設でいいと思ってるんです。私が仮に会議室借りてあそこを借りて会議してエレベーターで下に下がって飲み屋で懇親会して、電車で帰るんです。すごく便利です。そういうふうな使い方ができるんだから駅前の狭い一等地をね、3階建てにしようが何階建てにしようが有効に活用して皆さんが便利に使えるものを作ってもらいたい。高校だって東高、南高は西口にある。北高は、北の方

にあるんだけどもどっちからでも行けます。そういう若い人たちが使いやすいようにやっていけばいいんだし、時代の流れでいろいろ変わっていくのはどこだってそうです。どこの市町村もそういうふうに便利なところにどんどん施設集約して、コンパクトシティというふうにやってるはずですよ。だから矢中だって日詰だってどんどん変わってくる。駅の公共交通機関を使っていいところに作ってますよ。

私はそういうふうな流れはもうどうしようもないと思うので何も意見を無視したとかそういうことではないと思います。今まで何年もかかって整備しています。私それずっと見てきたから、見たというのは資料を見て来ましたんで、時間もかかってますけれどもこのまま進めてもらってもいいんじゃないかと私は思います。

以上は私の意見ですので反対する方もいると思いますが、反対する方の意見もどうぞ。あとすいません、何で市議会が単独施設にしたか、俺は複合施設でも十分と思います。だけど市が何年か前にまとめた時に単独施設とிட்ட。ちょっと私は疑問なんですけど。でも市議会として詰めたんだから後様子見てまた変えればいいのかと思いますので、その辺もどうかと思ったので意見を言いました。以上です。

質問者 4

端的に、皆さん多分いっぱい質問したい方いらっしゃると思いますので、10 ページのですね、後半の土地利用は不安要素を避けて市有地とすることにしますと書いていますね。どこの土地をどのぐらいで市のものになさる決断というか計画なんでしょうか？

市川主任専門員

JR 東日本の盛岡支社と、出されている条件は、8 ページの図面でいうと、図書館本体と 38 台と書いてあるところ、今スポーツ用品店とその南側の駐車場のところ。現在でスポーツ用品店とくっついた駐車場がある部分、なはんプラザのとなり、その部分で約 3,600 平米、それについては 1 億 3,000 万円ぐらいということでそれについて具体的にもう決まっているわけではなく、こちらの評価した額でありますけれども、前に協議した中ではそれぐらいという金額でありまして、双方の事業費等の比較調査、前回の説明会、隣のホールでやったときの数字にはもう入っております。

ただ単純にそれだけ多いわけではなくて、前回の説明で実質経費、病院跡地に建てたよりも、駅前に建てた場合は 1 億 2,000 万多くなるんですね。なぜかという補助金が入ったりするからです。土地代としては 1 億 3,000 万、また条件で出されているのでは、今の建物を市が壊したりする経費も入っています。あの事業費の中に。そういうのも含めて全部含めて、ただ補助が入りますから。そうすると駅に建てた方と病院運営側で建てた方では 1 億 2,000 万の差がありますっていうのをお示ししていたものです。

質問者 4

さっき石鳥谷の方がご意見をおっしゃったのもとても良くわかります。私も東京出張いろいろ行きますけどほとんど駅の沿線に図書館ができて、ただ人口のすごい交流が多いですし、それに伴って経費を受け取るそういうものも併設してるんですね、一緒にレストランをきちっと市民のレストランが中に入っていたり。例えば紫波のオガール、あそこもかなり図書館は中に入ってますけどいろいろな維持費をちゃんとプラスになるような計画をして作ってますよね。それからもちろん盛岡のアイーナ。あそこも図書館が 4 階か 5 階にありますけど、その間にいろんな、あそこもかなり県でお

金出していると思いますけど、さっき梅原さんがね、ものすごく聞きやすいお声ですって言っていただいて、本当にそのとおりなら素晴らしい図書館ができるんだなと感心しながら聞きしました。ですけど、ずっと聞いてるとすごい維持費、人件費っていうか、たくさんの人たち市役所職員の中からかなりの人たちがその新しい図書館にも配置しなきゃいけないくらいのそういう計算とかいろんなことを考えて10年後15年後20年後おそらく花巻の人口は6万ぐらいに下がる5万ぐらいですか。そういう人たちがもしかして税金を非常に高く払う羽目になることはないようにだけ私はしてもらいたいです。夕張のようなことにはならないように本当にそれはですね、私が10年ぐらい前に東京にいる花巻出身の姉たち子ども達が言うのは、花巻市は大谷翔平が出ない頃ですけど、とにかく壊れるというか、負債を抱えて成り立たなくなる、と言われてびっくりしました。それも10年以上前の話で、そこからおそらくいろんな市議員とか市長さんとかいろんな職員の方々にあってきつといいようにしてるんだろうと思って信頼をしますけれども、それを今はいいけれどもその30年後に夕張のようにならないようにだけ、行政政治っていうのは5年10年ばかりじゃなくて、30年後の花巻市が一体どうなるか、青写真を描いて、ぜひそういうふうにしてやっていただきたい。それから私の実家が花巻の新高電気さんのそれこそ後ろ側ですので、宮沢さんとかあった。もうとにかく貨物列車なんか、今どうなんでしょう。もううるさいです。私前も意見を述べましたけれどもつまり西側の方に変電所か何かありますね。本当にさっきこちらの方がおっしゃったとおりゆとりのある自然からはものすごく離れた環境です。もし図書館ができるとすれば。それから変電所の電波もとびかってると思いますし、将来JRが花巻の駅はなくして新花巻駅はあるにしても、もしかしたらバスになったりそういうことも、貨物列車しか通らないんじゃないかなというふうに私なんかはちょっと感じたりするときがあります。いずれ子孫に大きな借金を残さないためのそういう考え方で新図書館をつくっていただきたいということです。

梅原室長

ありがとうございます。目標として掲げているところが市民1人当たりの貸出冊数が多かったり、利用者を増やすというところで経費がかかるんじゃないかとか心配されていると思います。基本計画の中でも今後の経済情勢や人口減少を加味しながら変更していくとしておりますし、建物についても今環境に優しい建物を建てるよう国から指示もあり、そういった建て方をしようと思っていますので、光熱水費などが抑えられるかなということがあります。これから設計してみてもいいのですが、その経費は抑えられるところは抑えながら、また、人口減少や経済状況もございますので、その時々で考えながら変更していきたいと思っています。ありがとうございます。

質問者 5

ちょっと確認したいんですが病院跡地、令和6年3月に3億円なんぼだかで買ったということなんですよ。その他にまたJRの土地も買うということですか。だったら病院跡地でよかったんじゃないかと思います。余計別にわざわざ買って、JRにやらなくても、病院跡地で良かったんじゃないかなと思いますけども。なんでわざわざ買うんですか。資料に75人のアンケートだかあるんですけど、土地の所をみるとあまり気にしないで、関係ないみたいな感じで書いているから、その辺ちゃんと説明したのかなと。

梅原室長 先ほどの説明でもお話しましたが、建設候補地、病院跡地と駅前の2か所について市民会議で皆さんに対話していただきました4回、1日4時間を、お互いに対話でメリットとデメリット、デメリットの解決策を、両方の候補地について話していただいたんですが、その中で市のほうから、費用がこのぐらいかかりますというところを、土地代についても、駅前についてはJRから購入する費用がかかり、事業費は病院跡地より1億2,000万円多いですという話をしています。

質問者5 わざわざJRから買うという説明はされたんですかね。

梅原室長 市民会議の場でも、経費の比較をしたときに、病院跡地の方の土地は令和6年3月に3億2,400万円で購入済みですという説明はきちんとしています。

質問者6 署名実行委員で関わってきました。先ほどから市民会議の結果を重視しているっていうのを何度も聞いてるんですが、去年のこの隣のホールで比較調査の説明会にこちらに来たときに、市民会議の結果では決定しないって市川さんおっしゃったんですね。そして、あと市民会議に参加された方が、最初にこの私達の市民会議の結果で決定はしないですよって聞いたら決定はしませんっていうことを言っていましたって、だから安心して自分たちは要するに責任を非常に重大ですから、自分たちのいわゆる結果が重大なので、安心して例えばだからどちらでもいいっていうような答えが多かった。なのに、なぜこれほど市民会議を重視するのか。6,000人、私達の統計では7,000人いってるんですけども、どういう判断で6,000人というふうに市の方が当局がしたのかわからないんですが、いずれ7,000人ぐらいの、本当に1人1人説明して歩いて、街頭署名して集めた署名よりも市民会議の、実際に参加されたのは65人って聞いてますので、65名の今まで特に本当に図書館について関心がなかった人たちの4時間4回の結果を重視するのかっていうのが、先ほどおっしゃったように、私はそこが全然市川部長の返事では納得できません。あと10項目のうちの重要項目5項目を重視したって言うんですけども、アクセスと活性化っていうのが、それほど今花巻の図書館に重要視されるのかっていうのが、それも市民会議で出たって言うんですが、外れたその5項目の中に他施設との連携とか文化歴史っていうのが非常に花巻には大事だと思ってます。外れたその5項目、重要ではないとされた中に、ほとんどが病院跡地の方が多いんです。実は。だから何かいわゆる当局が都合がいいように、何かそっちに誘導していったんじゃないかなっていうそういう疑問があります。文化歴史とか全部考えたら、その跡地の方が多かったっていうことも出してください。

市川主任専門員 市民会議が決定するものではないっていうことを言っています。市民会議が場所を決定するものではなくて、それを参考にして、市が決定するのだということです。それは市民会議の最初、市民会議を傍聴された方もおいでだと思いますけども、市民会議でそのように話してますよね。市民会議の皆さんがこの場で決定するものではないですよ。メリット、デメリット、デメリットの対策を考えて、最終的に個人的な考え、最初と変わることも許しましょうねっていう話の中で、皆さん話し合いの中で、考えたことを最後にヒアリングシートに書いてもらった。それについて市が、そのデ

ータをもとに見ましたら、その結果を踏まえて、駅のほうがいいと決めたと。

それと、アクセスとか活性化とかですね、これは我々が決めただけではなくて、市民会議の皆さんが出してきた項目、それを分類する、重要な項目を10に分類されたわけですよ。それを、実は今AIっていうのがあって、AIで分類してます。それを市民会議の皆さんに出して、この分類でいいですかっていうのを確認してます。それでその分類を10個に分けました。ですね。どれが重要かっていうのはまだ示してないですよ。費用とか、当然文化とか歴史、他施設の関係っていうのも出てきたわけですよ。出てきたっていうことは重要だということです。皆さん考えた項目の中で重要じゃなかったっていうんじゃなくて、重要だというふうになった項目でやっぱり文化歴史とか、あったっていう、費用もあったんです。その中で、最後に重要だと思う5項目、順番書いてつけてくださいって、五つ書いてもらったわけそれで一番多かったのがアクセスだという。だから文化や歴史を重視してないっていうわけじゃないんですよ。そのうちの五つをくださいって言ったから我々五つを見て、やったときに、こういう分類になったということです。あの図書館に関心もない75名ということではないです。かなり関心ある方だと思いますよ。

質問者 1 関心あるって言ったって70人だろう。片っぽは6,000人だよ。

市川主任専門員 関心がないとおっしゃいましたが、関心があった方々だと思います。1日4時間の会議に出席される方ですから。事実、いろんな感想書いていました。最後に。これはホームページでお示ししています。自分は最初駅の方だと思ってたけど考えが変わったっていう人もいますし、逆の人もいます。

質問者 1 人数の話してるんだ。人数の。関心があるかじゃないんだよ。6,000と70の話しているんだよ。数の話しているんだ。数。ごまかすなよ。

市川主任専門員 先ほどから申してますが、たくさんの方が署名された方がいるのであれば、抽出した中に出てきてるわけですよ、当然。

質問者 1 70でしょう。

市川主任専門員 70だとしても、署名たくさんいるって言うんでしょう。

質問者 1 いたって70人だろう。片っぽは6,000人だろうが。数の話をしているんだ。

高橋次長 一旦よろしいでしょうか。

質問者 6 1ついいですか。市民会議の選び方っていうか、それもちょっと疑問があるんですけども、結局、一番今図書館を利用している60代以降が50%以上なんですよ。一番利用している世代が、市民会議の中での割合が少なくって、10代、20代、30代と、その中でも、土日に4時間出られるっていうのは、子育てのお母さんたちとか、そういう人たちはなかなか出れないですよ。非常にそれも偏りがあって、という感

じで、高校生が重視というか、言っているんですけども、基本的にそのみんな若い人たちが、10代、20代、1%の利用率しかなくて、それで出て行っちゃったり、仕事で忙しかったりしますよね。で、やっぱりそして家庭を持って利用するとなると、そういう意味では、駅前はいづらいいんじゃないかっていうことなんです。

高橋次長

事務的なことなので、私の方で説明させていただきます。どういう基準で選んだかということについては、令和6年3月の時点で住民基本台帳に登録された方の中からまず選びました。その3,500人が多いか少ないかという部分については、いろんなご意見あると思います。そのとおりだと思います。私達は今から使う方の意見も必要だと考えました。住民投票では18歳以上なんですよね。なので、今これから花巻に残って使ってくれるだろう15歳からまず案内を出したというのがまずポイントの一つです。最高齢は89歳の方まで抽出して出させていただきました。全体の比率、参加された方で大変残念だったんですけども、比率としては確かに割合がちょっと差が出たところもございます。そこはそのとおりだと思います。ただ、一方で子育て世代のお母様が来ていただいた、傍聴に来ていただいた皆さんはわかるかと思うんですけども、託児を準備しましたので、お母さん世代もかなりの方が来ていただいて、託児も利用いただきました。という部分も含めて、ある程度人数に関しては、参加いただいている人数には考慮させていただいて、選んだ上でお願いしたという部分のご理解いただければと思います。あと、先ほど、どちらでもいいという答えがあったというお話だったんですけども、署名実行委員会の方で参加者の方がいらっしゃったんで話す機会があったんですが、10項目やっぱり多いと、10項目が多かったという話だったんですけども、話をしていく中で、どちらに建ってもいい図書館ができると思うのでどちらでもいいっていう選択をしたっていう方も多かったです。どっかわからないからではなくて、話をしていく中で75名の方、確におっしゃるとおり少ないのかもしれないけれども、話をさせていただく中で75名の方の疑問等については、先ほどお話あった電磁波の話もさせていただきました。私達の方で調べて、疑問に思ったことを全部、4時間、ちょっと時間かかっているんじゃないかというお話もあったんですけど、全部疑問に思ったことに対しては資料を作って、提示させていただいた上で話し合っていたので、そういう部分では私達としてはある程度図書館に関心がないところではなくて、ある程度情報を持った方に対して判断していただいた結果としてできたものだというふうに考えてますし、先ほどお話をあつたどちらかと言えばが多いという、病院側のほうが多いという部分もあったというご質問ですが、それは個人個人が一つ一つの項目の中での判断だというふうに理解しておりましたので、市川が先ほど喋ったとおり、市としてはどういふのを重要視しているかというのを判断させていただいて、今回は駅ということで選定させていただいたという経緯がございます。そういうふうにご理解いただければと思います。

梅原室長

一つ追加させてください。今の図書館の利用者の構成のところ、年代の高い方の利用が多いのというお話をされましたけれども、確かに今の図書館は年代の高い方と、小さいお子様をお持ちの子育て中の親子連れの方の利用が多い状況ですが、新しい図書館は、蔵書構成も工夫しまして、専門書などをそろえて、今あまり利用していない20代30代の方にも利用していただきたいと考えておりますので、今の利用者の

年代だけではなく、全体の世代からお話を聞きたいと思ったところでございます。今の図書館の利用者さんも大切にしますが、今使っていない方にも利用していただきたいと考えています。

質問者 4

2 ページ目の下の方ですけれども、講演会、セミナーの開催なんかも考えているというお話が書かれていますけれども、これは講演会場みたいなものをつくるってことですか。

梅原室長

はい。今の図書館でも規模は小さいんですが企画展や、会議室で講演会などもしていますし、文化会館など他の会場でも事業をしています。規模の大きさは設計してからはなりませんけれども、新図書館では多目的なスペースをつくる予定ですから、そこで企画展も今より広くできるでしょうし、講演会やセミナーもしたいということで計画案に書かせていただいています。

質問者 4

理想的ですごくいいんですけど、市の税金を使って維持費、全てにあんまり外からいろいろなものを、入館料を取るわけではないし、そしたら本当に税金だけを、市民がほとんど使わない、8割の人が税金を納めて、そして使う人は2割くらいっていう人のためにお金をどんどん出るような、梅原さんの話を聞いていて、こんな理想のものやって大丈夫なんだろうかと、私は思いながらちょっとお聞きしました。東京なんかでもいろいろ見ると本当に維持費が入るように、スペースを作るいろいろ貸し出しを、多目的ホールをつくったりしながら、そういう維持費に充てているんだと思うんですけど、そうしなければこの理想だけのこの図書館、しかも税金で1億2,000万もまたさらに借金をして、大丈夫でしょうかってちょっと思いながら今日お聞きしました。

質問者 7

令和4年に開催された市民説明会での建設候補地にまなび学園を推進する声が多かったにもかかわらず、どこにも反映されることがなく、市民会議に参加して、限られた人数だけで候補地が駅前が優勢として採用されていることにとても悲しい気持ちになりました。また、市民団体が中心になって取り組んだ署名の扱いにも残念な思いでいっぱいです。市長はじめ、あくまでも職務を全うしていることは理解していますが、市役所の担当職員の方々にも絶望を感じています。この流れの中で怒りとともに傷ついている人間がいることをどうか覚えていてください。これはあくまでも私の私的な感情論ですし、内容も重複していますのでコメントは一切ありません。聞いていただいております。

質問者 6

一つは市長が議会で署名を見ていないって発言されたんですけど、そして担当部署に聞いたところ、いろいろ同じ筆跡があったとか、いろいろすごく粗探しのなとか、ケチをつけてきた感じなんです。私達は花巻市長宛てに出したんですけど、なぜ見ていないのか、そのところを知りたいのと、それと、市民会議で全く今まで図書館に関心がなかった人が、だんだんに図書館のことを、問題を話し合っていく中で理解していく、私達署名実行委員会は、さらにもう長年ちょっとそういうふうな署名とか図書館のことをすごくやってきたので、メリットデメリットについても、

私達が作った資料をぜひ市民会議の参加者に少しでも判断の、いわゆる話し合う内容にしてほしいと、資料を渡したいもしくは置いといて自由に取ってもらえるようにしたいって言ったら、全部駄目って感じで市の方から言われて、さらに傍聴で聞いた人はロープを張られて、縄を張られてここからは一切入らないでください。だから話し合っている声も聞こえない、様子もわからない、それで何も言うなみたいな感じで、同じ市民なのに、一体これはどういう扱いなんだってすごく思ったんですね。その辺もちょっとそちらの意見を聞かせてください。

市川主任専門員 市長は署名を見てないとは言ってないと思います。当然見てます。私見せましたから。市長は見てます。それは間違いありません。

質問者 6 でも、傍聴してましたけど、見てないってはっきり言いました。その場で。議会の場で言っていました。

市川主任専門員 いや、見てないじゃなくて見たよと言ったと思います。

質問者 6 それは、あとでまずかったなど、失言したなど。

市川主任専門員 違います。全員の名前を見てないって言ったと思います。そこは私見せましたから見てます。それは間違いありません。

市民会議で参加者の方に資料を渡したいとか説明したいというご意見の方ありました、確かに。でもこれは、市民会議を無作為で抽出した方々の対話による市民会議をするということで、議会に説明して予算をつけてもらって、そういうふうに進めてやったものなので、それはしょうがないんですよ。そのように進めなければいけないんですよ。実際は会議の場で資料配布された方ありましたよね。そこは特に何とは言っていないよ。傍聴席から出てもらってはやっぱり困るわけですよ。その参加者の皆さんで、対話で話をしてくださいってということで進めてるわけですから、そこはご理解をいただきたいということで説明しましたし、おっしゃった方には説明してご理解をいただいたと思っておりました。毎回、自分もこういうふうに来てきたから説明したいっていう方おいででしたけども、いや、そういうわけにいかないの、ここは入らないでもらいたってことでご理解をいただいたというふうに思っておりました。

高橋次長 先ほど市の方で署名を返したという部分のお話があったかと思うんですけども、実は市川と私、室の方で全部確認させていただいたときに、同じ名前が何個かありました。あの署名の中にですね、数数えてるとかではなくて、本当にパラパラ見てる中で同じ名前が何個か同じありましたものですから、事務局の方にご連絡させていただいて、これどう対応しますかっていう確認をさせていただいて、判断は署名実行委員会の方をお願いしていました。そのやり取りの中で多分気分を害されたのかと思いますけど、事実としては、何個かあった署名の部分をどうしますかと確認したときに、事務局の方で確認し直しますということが、そのやり取りの結果の事実でございます。

もう一点、先ほど資料とか線を引かれたって部分の話なんですけども、実は先

ほどどなたかおっしゃったとおり、75 人の方が決定するって思ってこられた方もやっぱりいらっしゃいまして、自分がばれるのが嫌だとかですね、怖いって感情を持たれた方もいらっしゃいました。ただ、ご意見を皆さん言い慣れてない方だったと思うんですけども、そういう方に対して私達、市としてできることは、ある程度傍聴者の方と接触をさせないということができるとあるなと思いましたので、大変失礼かと思いましたが、傍聴者の方には私と市川と菊池の方が対応して、説明させていただくことでご理解をいただいたと思っています。傍聴された方に対して大変失礼だったかと思えますけれども、今回は図書館の場所を決めるための大事なやっぱり意見を聞く場というふうに私たち事務局の方では思っておりましたので、どうしても参加者を優先させていただきました、その部分をご理解いただければと思います。

質問者 8

いろいろこの資料の中で数字が間違ってる。ちょっとこれ訂正させていただきたいんですけども、私たち署名実行委員会ですね、10 ページですね、市民からの要望、これは私達が出した署名実行委員会の要望でございます。その中に合計 1 万 269 名、これは確実な数字です。先ほど何名かの署名した方が被っているのではないか、これをちゃんと、きちっと引いた数字で、それから自筆と認められる方 6,181 名、これは間違いです。7,203 名です。これもきちっと私達は把握しております。そのことをちょっと訂正させていただきたいなと思います。

やはりですね、先ほど、市民会議、これを 75 人って言ってましたけど実際は 65 名ですよ。10 名の方が欠席してます。最初から。そういうところの中で 65 名という、それを私達は把握しております。

高橋次長

1 万 269 名はそのとおり、署名事務局からいただいた数字を直しているものですので、その数字はそのとおりというふうにご理解いただけたらと思います。6,000 名に関しては、市の記録を確認させていただければと思います。

あと、出席者に関しては、やはり今いろんなご意見、誤魔化すなよってというお話があったんですけども、私達は 75 名の方が参加希望を出してくださったことをご報告しているものです。確かに参加者されなかった方、ご都合、怪我された方それぞれ連絡いただいております。謝っていただいたりですね、どうしても怪我してしまったとか、会社の都合がっていう電話がありましたので、それを一つ一つ私達が追い詰めていくというのも違うと考えたこともご理解いただければと思います。

質問者 8

そういうことを言っているのではなくて、実質 65 名だと。そしたらこのところは、

高橋次長

すみませんが、そういう思いもありましたので、署名については、その事実の部分に関しては戻りまして、確認させてください。

質問者 2

先ほど駅の方に建ると 1 億 2,000 万かかるってことですよ。あの、東和の歴史資料館が今休館になってるんですよ。休館ですよ。ですから、そちらの方にかかるよりも、予算のかからない花巻病院の跡地に建てて、1 億 2,000 万あったら、東和の歴史資料館をね、開館してほしい。そちらに予算を使ってほしいなど。

高橋次長

ありがとうございます。私、東和歴史資料館の採用になった職員ですので、私があそこ作った建物でございます。ですので、ありがたいお言葉でございます。ただあそこの建物を私は全部、逆に知っております。あそこの敷地も知っておりますので、やっぱりふるさと歴史資料館ということで、東和のみなさんが歴史詳しいのは私も勉強させていただいて、詳しいですし、大変嬉しいんですけども、事実としてやっぱり東和の歴史資料館を戻すっていうのはなかなか資料も難しいかなという部分もあります。